

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 特許出願公開

⑪ 公開特許公報 (A)

昭57-119056

⑫ Int. Cl.³
E 04 F 15/04

識別記号

厅内整理番号
2101-2 E

⑬ 公開 昭和57年(1982)7月24日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 4 頁)

⑭ 床材の一部貼替え方法

⑮ 特 願 昭56-5347

⑯ 出 願 昭56(1981)1月15日

⑰ 発明者 篠原悌三

門真市大字門真1048番地松下電
工株式会社内

⑱ 発明者 廣田清臣

門真市大字門真1048番地松下電
工株式会社内

⑲ 出願人 松下電工株式会社

門真市大字門真1048番地

⑳ 代理人 弁理士 石田長七

明細書

1. 発明の名称

床材の一部貼替え方法

2. 特許請求の範囲

(1) 床に既設の床材の一部を除去し、除去された床材に接着していた両床材の露出面間に沿つて離さね部を切欠し、新しい床材の両側面間に沿つて設けられた凹所内に発泡性合成樹脂を注入し、この新しい床材を除去された床材のもとの位置読み込み、この複数所内の発泡性合成樹脂を発泡させて隣接する床材の離さね部に嵌合する離さねを確実化することを特徴とする床材の一部貼替え法。

(2) 床材の離さね部及び離さね部を一定ピッチ規則的な波状に形成することを特徴とする特許請求の範囲第1項記載の床材の一部貼替え方法。

発明の詳細な説明

本発明は床材の一部貼替え方法に関する。

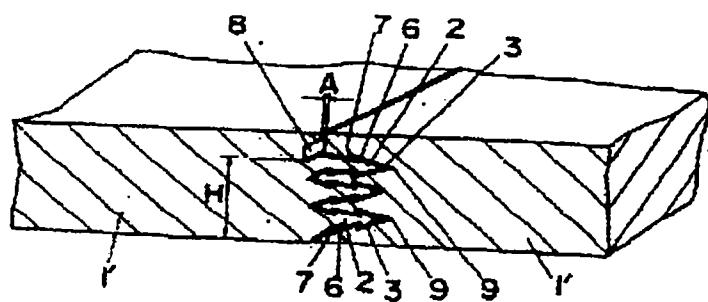
若者体高材の床材(I)にあつては、第1図に示す

ように、両端に凸縦状の嵌合部(2)を持つ離さね部(3)と両内面に凸縦状の被保止部(4)を持つ離さね部(3)とを嵌合させることにより床材(I)同士を連結して床に敷設されており、しかも嵌合部(2)と被保止部(4)とが互いに平行に密着して嵌合することにより床材(I)間の隙間(5)が最小になるようにしてあつた。また、離さね部(3)の上に設けた空所(6)に釘穴を設けることによつて釘の効く厚み(7)を大きくし、釘の効きを良くしてあつた。また離さね部(3)の底に接着剤(8)を塗布しておいて離さね部(3)と離さね部(3)の離さね面積を大きくすると共に、床下からの漏風(9)を防止してある。

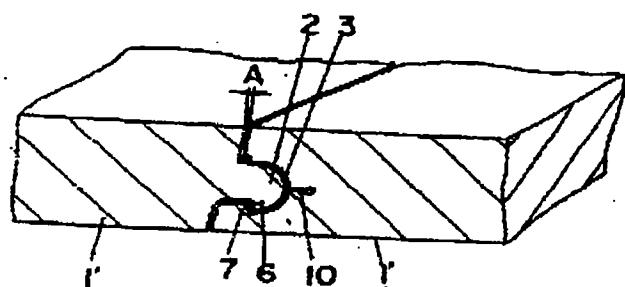
また、別な発泡体高材の床材(I)にあつては、第2図に示すように、床材(I)一側の離さね部(3)と床材(I)他側の離さね部(3)とを嵌合させ、離さね部(3)下面の嵌合部(2)と、離さね部(3)下内面の嵌合部(2)に平行な被保止部(4)とを保合させて床材(I)間の隙間(5)を最小にして密着に連結してあつた。また、離さね部(3)の底には切り欠き(10)を切入してあつて、離さね部(3)を離さね部(3)に嵌合させると同時に離さ

第 1 図

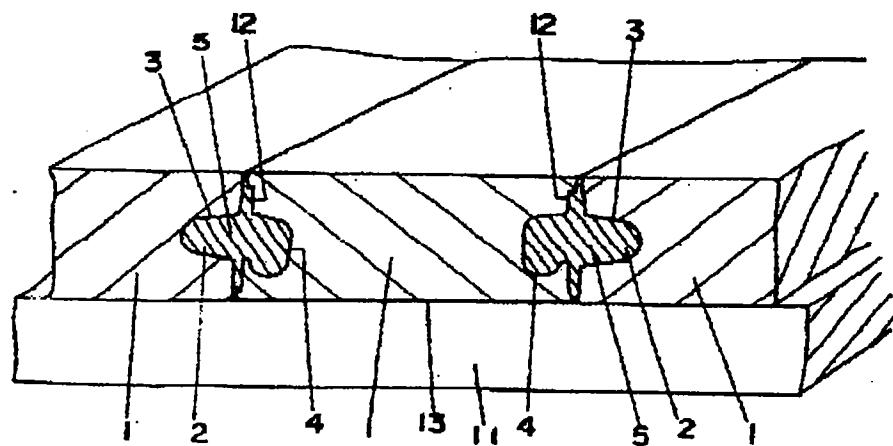
特許昭57-113056(8)



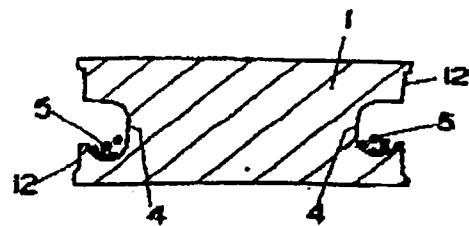
第 2 図



第 3 図



第 4 図



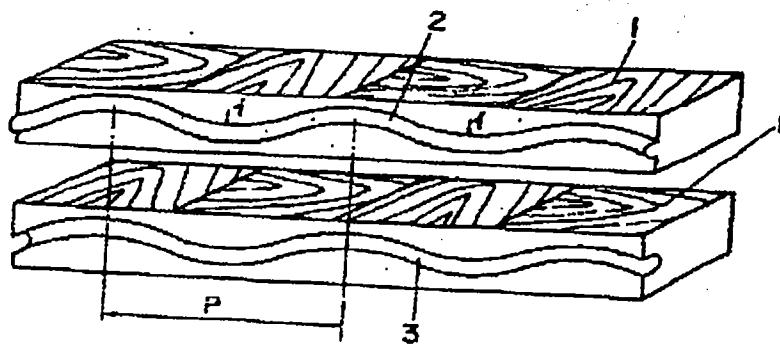


図6

